容認しています

丸山道議は、

安全性が

改定され、 原子力災害対策指針が 原子力災害時

がら、 認識を鋭く問いました。 任な姿勢です。 直していく」と全く無青 確保されない原子力災害 対策指針に対する、 道は 地域防災計画を見 「国の動向を見な 道の

では、再稼働は認める 「安全性確保できず」 べきではない

計画を到底認めることは 働は行うべきではない」 線被曝を前提とした避難 を可能とするなど、放射 処方薬の購入等で、 の物資購入、 中においても、 できない。 と鈴木知事の責任を強く 丸山道議は 泊原発の再稼 外来受診、 「屋内退避 小売店で 外出

求めました。

最低賃金引き上げに 比海道独自の支援策を

北海道の最低賃金が10月から65円上がり、1,075円になりました。

中央最低賃金審議会の目安に2円上乗せされましたが、地域格差の解消にはほど遠 いのが実態です。

愛知地方最低賃金審議会では、愛知県労働組合総連合会による、最低生計費資産調 査が、審議会資料として採用されました。

札幌市在住25歳単身者で、月給26万、時給にすると1.500円。 考慮すれば時給は1,700円が必要との調査結果があります(北海道労働組合総連合)。 丸山道議は「生活実態調査を審議会の資料として採用すべきではないか」と知事に迫 りましたが「審議会は実態を考慮し議論している」として採用要請を拒否しました。

知事として何が出来るの 発行しているリーフレッ されている。これを見て ているのかの事例が掲載 のように節約して暮らし トを示し「若者が何をど 八山道議は、 道労連が

若者の生活実態に 心寄せて

を実施していると言いま 業者のデジタル技術の導 道でも独自の支援を知事 ました。丸山道議は北海 独自の支援を実施してき すが、効果は限定的です。 賃上げをした中小企業に 知事は、中小・小規模事 人材確保への支援

入や、 に求めました。 岩手県・群馬県では、

中小企業への支援を

民間事業者の活動も継続 における屋内退避期間中 可能としています。 爆が避けられないことを これでは屋内退避中 放射性物質による被 生活維持に必要なら 一時的な外出を可能 住民生活を支える

放射線被曝を前提とした避難計画 原発再稼働やめよ!!

環境性に優れているとは言えない事、

再稼働を認めるべきではないと知事に迫りました。

丸山はるみ道議は、過酷事故につながる危険性が避けられない原発は、

安全対策工事費や維持費の問題点を

めました。

27年をめどに泊原発の再稼働を目指しています。

北海道電力は、

日本共産党 北海道議会議員

響を想定する自治体にま で広げるべきとして、 とどめず、 意の自治体は、 治体の声を聞き、 働について道民や関係自 に判断するとしています。 丸山道議は、 鈴木直道知事は、 事故被災の影 4町村に 再稼働合 総合的 再稼

べきだと、

再度答弁を求

再稼働合意 自治体範囲広げよ の

区域は、 在も、 判断を示しませんでし 地周辺自治体より拡大す で及んでいる実態を示 原発事故による帰還困難 た。 することとして、 鈴木知事は、 再稼働合意範囲を立 山道議は、 30キロ圏の境界ま 14年経過 福島第1 国が判断 自らの した現

事の見解を問 ました。

第3回定例道議会 丸山はるみ道議 立地4町村で良いはずは に対し、 囲を広げるよう知事が国 合意を得る範囲が、 態も示し「泊原発再稼働 経緯や立地自治体の意向 たものとの答弁を繰り返 でないかと迫りました。 が30キロを超えていた実 故では当時、 を繰り返すばかりです。 などを踏まえた上で、国 ない」と再々質問 が判断したもの」と答弁 鈴木知事は国が判断し 丸山道議は、 鈴木知事は「歴史的な 働きかけるべき 放射能汚染 福島の事 I し、 範 原発

ともに答えようと 丸山道議の提案にま

発行:日本共産党北海道議会議員 丸山はるみ事務所 〒047-0032 小樽市稲穂1-12-205 TEL 64-5591 FAX 64-5592 メールアドレス: jcp-maruyama@harumi7013.com

と指摘しました。

か考えていただきたい」

3定道議会

戦後の記憶、次世代に引き継ぐ 今を生きる世代の義務

丸山はるみ道議は9月24日、第3回定例会一般質問で、「戦後80 年と平和の取り組み」に関し、戦争の記録を次世代に引き継ぐこと の重要性と「アイヌ民族と戦争被害」について知事にただしました。



されない。

戦争の記憶や

とを理由とした差別

平和の尊さを若い世代に

下でも、

アイヌであるこ

知事は「いかなる状況

伝える上で大切なことの 「戦争の記憶を次世代に つにア 被害の歴史がある」と 丸山道議は知事に対 イヌ民族と戦争

います。

ちの使命です」と述べて

伝えていくことは、

米政策~失政の反省を 今後の農政にどう生かすか

いく」と国頼みの姿勢です。 国に効果的な政策を求めて の検証を注視するとともに ていくのか、 をどう反省 ている米政策全般について いました。 道の主体的取り組みで 沿山道議は、 担い手・後継者支援を 道は「国が行っ し今後に生かし 道の姿勢を問 農政の失政



手・後継者支援など、 ず、道が主体的に取り組む. 的強化・拡充を国任せにせ 族経営農家に対し、 農業維持のために、 返しました。 を担った当事者意識が薄い ことを求めました。 丸山道議は続けて 再度反省を促しました 知事は同じ答弁を繰り 中小家 抜本

「ヒグマ対策意見書」を全会一致で採択 住宅地等でも安全確保のうえ捕獲可能に

今年度、小樽市でも頻繁にクマの目撃が報告されて います。道内では、7月に福島町で新聞配達中に、ま た、8月には知床羅臼岳の登山道でヒグマに襲われ、 2名の方が命を落としました。

います。 では、 体が作成済みで、 道内ではすでに13自治 が推奨されています。 急銃猟のガイドライン 猟が可能となりました。 市町村の権限で緊急銃 獣保護管理法により、 きな影響が出ていま 迎えなど道民生活に大 に向け検討中となって に158自治体が作成 環境省が公表した緊 今年9月、 マニュアル作成 改正鳥

では、地域行事の中ヒグマが出没する地 こでは、 の満額措置を求めまし 理鳥獸対策事業交付金 より中止されたイベン れるようにすること えて公務災害を受けら 務員としての身分を与 合った処遇を求め、 策のさらなる推進を求 銃猟制度などヒグマ対 例会において、 める意見書」を全会一 ト等への保障、 しその責任の重さに見 道議会では第3回定 ヒグマ警報などに ハンターに対 しま した。 指定管

丸山道議は米不足の一端

として、 ぐ取り組みを強化すべき の記憶を次世代に引き継 を求めるとともに、 資料をまとめる取り組み 差別・戦争被害に関する た等の証言があります 険な最前線に送り込まれ 軍隊でも差別を受け、 兵されたアイヌ民族は と訴えました。 いません。 公式記録にはなって 日本兵と同様に徴 アイヌ民族への 丸山道議は道 戦争

ることなく、

次の世代に

式典で「記憶を風化させ

木知事は戦没者追悼式の

戦後80年にあたり、

平和施策の必要性と

取り組みについて

芸術の秋~道立近代美術館へ~



1

治風刺雑誌に挿絵掲載が始ま から画家を目指 ったのは15歳のとき。 彼女の多彩な魅力をぜひ 月24日まで開催中 ーミン・ ヤ シリ 15歳で政 ズが有名

~国賠同盟小樽後志支部総会でご挨拶~

今年は戦後80年、第31回目の治安維持 法犠牲者国家賠償要求同盟小樽•後志支 部総会が行われました。

1925年に制定された治安維持法は、戦 前から戦中、絶対的権力で国民を押さえ つけ、数十万人を逮捕・投獄、そのうち 獄中で病死した人が千五百三人と甚大な 犠牲をもたらしました。

参院選で、「日本人ファースト」と排 他的言論で票を伸ばした参政党が、秋の 臨時国会で「スパイ防止法」案提出を目 指すとしています。国民民主党や維新の 会の動向も注視が必要です。

原因で、北海道は国の誤った需給調整に従った責任があります

米価高騰が今も続いています。

国の減反政策による米不足が

歴史の過ちを繰り返さないために、国 賠同盟の運動の必要性を感じました。



投資家からも厳しい目が一

域では、

止や子供の通学の送り



定例会ごとに行われてきたダイバー 経団連担当者の大山みこさんから